



平成30年2月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

平成29年10月3日

上場会社名 株式会社 ニューテック 上場取引所 東
 コード番号 6734 URL http://www.newtech.co.jp/
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 柳瀬 博文
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役副社長兼管理部長 (氏名) 宮崎 有美子 TEL 03-5777-0888
 四半期報告書提出予定日 平成29年10月16日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無：無
 四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

1. 平成30年2月期第2四半期の連結業績（平成29年3月1日～平成29年8月31日）

(1) 連結経営成績（累計） (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
30年2月期第2四半期	1,181	—	72	—	72	—	46	—
29年2月期第2四半期	—	—	—	—	—	—	—	—

(注) 包括利益 30年2月期第2四半期 47百万円 (—%) 29年2月期第2四半期 一百万円 (—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
30年2月期第2四半期	24.17	—
29年2月期第2四半期	—	—

(注) 平成30年2月期第1四半期より四半期連結財務諸表を作成しているため、平成29年2月期第2四半期の数値及び対前年同四半期増減率については記載しておりません。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
30年2月期第2四半期	2,523	1,222	48.4	637.61
29年2月期	—	—	—	—

(参考) 自己資本 30年2月期第2四半期 1,222百万円 29年2月期 一百万円

(注) 平成30年2月期第1四半期より四半期連結財務諸表を作成しているため、平成29年2月期の数値については記載しておりません。

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
29年2月期	—	0.00	—	15.00	15.00
30年2月期	—	0.00	—	—	—
30年2月期(予想)	—	—	—	15.00	15.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 平成30年2月期の連結業績予想（平成29年3月1日～平成30年2月28日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	2,764	—	168	—	160	—	109	—	56.86

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

平成30年2月期第1四半期より四半期連結財務諸表を作成しているため、対前期増減率については記載しておりません。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無
新規 一社（社名）、除外 一社（社名）

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：有

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	30年2月期2Q	2,081,000株	29年2月期	2,081,000株
② 期末自己株式数	30年2月期2Q	164,195株	29年2月期	164,195株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	30年2月期2Q	1,916,805株	29年2月期2Q	1,916,805株

※ 四半期決算短信は四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる仮定等については、添付資料の「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	9
(会計方針の変更)	9
(会計上の見積りの変更)	9
(セグメント情報等)	9
3. その他	10
継続企業の前提に関する重要事象等	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当社は、第1四半期連結会計期間より四半期連結財務諸表を作成しておりますので、前年同四半期連結累計期間及び前連結会計年度末との比較分析は行っておりません。

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、今年度に入り昨年来の円安から円高に転じたことで国内大手企業の業績は今後不安材料を抱えております。輸出企業を中心に堅調に推移してきた設備投資についても先行きは不透明であります。しかしながら、当第2四半期連結累計期間における国内IT関連企業の設備投資需要は現状大きな変化はなく、公共機関や学校関連の投資意欲も継続してはおりますが、価格面では厳しい状況が続いております。

このような環境の下、当社では主力製品の機能強化、ストレージ製品の高付加価値化に寄与するソリューション販売（サーバー、ストレージ及びソフトウェアを組み合わせ、システムとして納入する販売形態）の販売強化により、Cloudyシリーズの大容量（8TB）のNAS製品が大口案件等により大幅に増加、プロミス・テクノロジー製のRAID（Vess）も売上に大きく寄与しました。また、小規模オフィス向け小型NASのOEM先への販売は順調に伸び、次期のモデルの開発に取り組み、開発を完了・製品化の上、ニュー・ミラーカードとして既に納品を開始しました。

このような状況の中、当第2四半期連結累計期間の売上高は1,181,532千円となりました。製品売上に関しては、OEM向けの製品（ミラー製品、小型NAS製品）の出荷は398,111千円とミラー製品の出荷は特に新製品（KITE）の機種入れ替え時期にあたり計画を下回りましたが、小型NASの出荷は良好で全体をカバーしました。主力製品のRAID及びNASの販売は、研究機関、学校等への納入が順調でプロミス・テクノロジー製の製品群並びにCloudyシリーズの大容量のNAS製品が523,447千円の実績を上げました。その結果、ストレージ本体及び周辺機器を含む製品売上高は947,060千円と計画通りでありました。また、商品売上は87,969千円、サービス売上は、株式会社ITストレージサービスの取扱った当社以外の製品の保守契約も加わり契約高では大幅に伸びましたが、長期の契約が多く売上の計上は146,502千円となりました。

一方、この結果、損益面につきましては、販売管理費の削減効果（34,261千円）により営業利益72,628千円、経常利益72,028千円、親会社株主に帰属する四半期純利益46,331千円と計画比で大幅増益となりました。

品目別の売上高は、次のとおりであります。

品目別	期別	
	当第2四半期連結累計期間	
	自 平成29年3月1日 至 平成29年8月31日	
	金額	前年同期比
	千円	%
ストレージ本体	898,541	—
周辺機器	48,518	—
製品小計	947,060	—
商品	87,969	—
サービス	146,502	—
合計	1,181,532	—

(2) 財政状態に関する説明

①資産、負債及び純資産の状況

当第2四半期連結会計期間末における総資産は、2,523,701千円となりました。

流動資産は、2,390,596千円となりました。主な内訳は、現預金の1,539,679千円、売上債権570,863千円、たな卸資産223,884千円等であります。

固定資産は、133,105千円となりました。主な内訳は、建物19,882千円、工具器具備品35,254千円、投資有価証券51,970千円、差入保証金23,325千円等であります。

負債は、1,301,523千円となりました。主な内訳は、仕入債務75,851千円、1年内返済予定の長期借入金315,602千円、前受収益472,953千円等であります。

固定負債は、301,499千円となりました。主な内訳は、長期借入金294,192千円等であります。

純資産は、1,222,177千円となりました。主な内訳は、資本金496,310千円、資本剰余金510,925千円、利益剰余金290,912千円等であります。自己資本比率は48.4%となりました。

②キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物（以下、「資金」という。）は、1,539,679千円となりました。

当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況は、次のとおりであります。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動の結果得られた資金は160,458千円となりました。主な資金増加要因は、税金等調整前四半期純利益68,028千円、売上債権の減少166,179千円、たな卸資産の減少15,760千円、前受収益の増加68,042千円、減価償却費9,485千円等であり、主な資金減少要因は、仕入債務の減少105,869千円、その他資産の増加38,911千円、法人税等の支払19,862千円によるものであります。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動の結果使用した資金は17,290千円となりました。これは、有形固定資産の取得11,290千円、子会社株式の取得6,000千円によるものであります。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動の結果使用した資金は220,784千円となりました。これは、長期借入金の返済192,050千円、配当金の支払い28,734千円によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成30年2月期の通期連結業績予想につきましては、平成29年7月3日付の「連結決算開始に伴う連結業績予想に関するお知らせ」において公表いたしました業績予想に変更はございません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

		当第2四半期連結会計期間 (平成29年8月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金		1,539,679
受取手形及び売掛金		570,863
商品及び製品		56,344
仕掛品		37,531
原材料		130,008
前払費用		4,663
繰延税金資産		15,270
その他		36,376
貸倒引当金		△141
流動資産合計		2,390,596
固定資産		
有形固定資産		
建物(純額)		19,882
工具、器具及び備品(純額)		35,254
有形固定資産合計		55,136
無形固定資産		
その他		1,209
無形固定資産合計		1,209
投資その他の資産		
投資有価証券		51,970
差入保証金		23,325
長期前払費用		1,463
投資その他の資産合計		76,759
固定資産合計		133,105
資産合計		2,523,701
負債の部		
流動負債		
買掛金		75,851
1年内返済予定の長期借入金		315,602
未払金		16,989
未払法人税等		20,040
製品保証引当金		20,399
未払費用		46,525
前受収益		472,953
預り金		6,056
繰延税金負債		14,393
その他		11,212
流動負債合計		1,000,024
固定負債		
長期借入金		294,192
資産除去債務		6,305
繰延税金負債		1,002
固定負債合計		301,499
負債合計		1,301,523

(単位：千円)

当第2四半期連結会計期間
(平成29年8月31日)

純資産の部	
株主資本	
資本金	496,310
資本剰余金	510,925
利益剰余金	290,912
自己株式	△78,265
株主資本合計	1,219,882
その他の包括利益累計額	
その他有価証券評価差額金	2,295
その他の包括利益累計額合計	2,295
純資産合計	1,222,177
負債純資産合計	2,523,701

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	当第2四半期連結累計期間 (自平成29年3月1日 至平成29年8月31日)
売上高	1,181,532
売上原価	834,669
売上総利益	346,863
販売費及び一般管理費	274,235
営業利益	72,628
営業外収益	
受取配当金	1,168
為替差益	3,017
その他	301
営業外収益合計	4,486
営業外費用	
支払利息	3,890
売上債権売却損	1,194
営業外費用合計	5,085
経常利益	72,028
特別損失	
役員退職慰労金	4,000
特別損失合計	4,000
税金等調整前四半期純利益	68,028
法人税、住民税及び事業税	16,258
法人税等調整額	5,438
法人税等合計	21,697
四半期純利益	46,331
親会社株主に帰属する四半期純利益	46,331

(四半期連結包括利益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	当第2四半期連結累計期間 (自平成29年3月1日 至平成29年8月31日)
四半期純利益	46,331
その他の包括利益	
その他有価証券評価差額金	740
その他の包括利益合計	740
四半期包括利益	47,072
(内訳)	
親会社株主に係る四半期包括利益	47,072

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:千円)

	当第2四半期連結累計期間 (自平成29年3月1日 至平成29年8月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー	
税金等調整前四半期純利益	68,028
減価償却費	9,485
受取利息及び受取配当金	△1,177
支払利息	3,890
製品保証引当金の増減額(△は減少)	△2,586
売上債権の増減額(△は増加)	166,179
たな卸資産の増減額(△は増加)	15,760
仕入債務の増減額(△は減少)	△105,869
前受収益の増減額(△は減少)	68,042
その他	△38,911
小計	182,842
利息及び配当金の受取額	1,177
利息の支払額	△3,698
法人税等の支払額	△19,862
営業活動によるキャッシュ・フロー	160,458
投資活動によるキャッシュ・フロー	
関係会社株式の取得による支出	△6,000
有形固定資産の取得による支出	△11,290
投資活動によるキャッシュ・フロー	△17,290
財務活動によるキャッシュ・フロー	
長期借入金の返済による支出	△192,050
配当金の支払額	△28,734
財務活動によるキャッシュ・フロー	△220,784
現金及び現金同等物に係る換算差額	—
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△77,615
新規連結に伴う現金及び現金同等物の増加額	112,821
現金及び現金同等物の期首残高	1,504,474
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,539,679

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

① 簡便な会計処理

・一般債権の貸倒見積高の算定方法

当第2四半期連結会計期間末の貸倒実績率等が前事業年度末に算定したものと著しい変化がないと認められるため、前事業年度末の貸倒実績率等を使用して貸倒見積高を算定しております。

・固定資産の減価償却費の算定方法

定率法を採用している資産については、事業年度に係る減価償却費の額を期間按分して算定する方法によっております。

・たな卸資産の評価方法

当第2四半期連結会計期間末の棚卸高の算出に関しては、実地棚卸を省略し、前事業年度末の実地棚卸高を基礎として合理的な方法により算出する方法によっております。

② 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理

該当事項はありません。

(会計方針の変更)

該当事項はありません。

(会計上の見積りの変更)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

当第2四半期連結累計期間(自平成29年3月1日至平成29年8月31日)

当社グループは、ストレージ(外部記憶装置)本体及び周辺機器の開発、製造、販売及び保守サービスを行う単一セグメントであるため、記載を省略しております。

3. その他

継続企業の前提に関する重要事象等
該当事項はありません。